

# 千葉大学医学部附属病院で内側半月板後根断裂または内側半月板横断裂と診断・治療された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月1日

整形外科

整形外科では、内側半月板後根断裂および内側半月板横断裂に対する治療成績と変形性膝関節症進行因子に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2016年4月1日～2026年3月31日の間に整形外科で内側半月板後根断裂または内側半月板横断裂と診断・治療された方

### 1. 研究課題名

「内側半月板後根断裂および内側半月板横断裂に対する治療成績と変形性膝関節症進行因子の検討：多施設共同観察研究」

### 2. 研究期間

2026年承認日～2031年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

内側半月板後根断裂および内側半月板横断裂は、膝の内側にある半月板の重要な部分が損傷する病気です。半月板は膝にかかる体重を分散する働きを担っているため、損傷により膝の痛みが出たり、軟骨の傷みや変形性膝関節症が進行したりすることがあります。治療には、安静、装具、リハビリテーション、注射などの保存加療と、半月板縫合術、半月板切除術、骨切り術を含む手術加療がありますが、どのような患者さんで症状

や画像所見が悪化しやすいか、またどのような因子が治療成績に関連するかは十分に明らかではありません。

本研究では、通常診療として行われた保存加療または手術加療後の経過を調べます。カルテ情報、患者さんの症状や機能評価、X線画像、MRI画像、手術を受けた方では手術記録や関節鏡所見などを収集し、治療成績や変形性膝関節症の進行に関連する因子を検討します。

本研究のために新たな検査、X線撮影、MRI撮像、再撮影、健側撮影、採血、手術、治療内容の変更は行いません。治療方法、手術術式、保存加療の内容、術後リハビリテーションは、各施設の通常診療および担当医の判断により行われたものです。

共同研究機関で取得された診療情報および画像情報は、氏名、カルテ番号など個人を直接特定できる情報を削除し、研究用IDに置き換えたうえで、主施設である千葉大学医学部附属病院に送付されます。画像データはCD-R等の媒体を用いて送付され、千葉大学医学部附属病院で評価および解析を行います。氏名等と研究用IDを対応させる表は、各施設で厳重に保管し、千葉大学医学部附属病院を含む他施設には提供しません。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

本研究では、血液、組織などの試料は用いません。通常診療で得られた以下の情報を使用します。

- ・ 患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、膝の既往歴など
- ・ 病歴：受傷または発症のきっかけ、発症時期、初診日、診断日、治療開始日、手術日など
- ・ 診療情報：症状、疼痛、身体所見、保存加療の内容、装具使用、リハビリテーション、注射治療、投薬、追加治療の有無など
- ・ 痛み、膝の症状、日常生活動作、スポーツ活動、生活の質に関する患者さんに記入いただく質問票
- ・ 画像情報：X線画像、MRI画像、変形性膝関節症の程度、半月板逸脱、軟骨損傷、骨髄病変、軟骨下脆弱性骨折を疑う所見など
- ・ 手術を受けた方の情報：手術術式、併用手術、手術記録、関節鏡所見、半月板損傷形態、軟骨損傷の程度、術後リハビリテーション、術後合併症、再手術の有無など

・転帰情報：保存加療から手術加療への移行、骨切り術、人工膝関節置換術への移行、その他の追加治療など

## 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

本研究は、千葉大学医学部附属病院を研究代表機関とする多施設共同研究として実施します。研究に利用する者の範囲は、以下の研究機関に所属する研究責任者および研究分担者です。

| 研究代表機関名        | 研究代表者 |
|----------------|-------|
| 千葉大学医学部附属病院    | 坂本 卓弥 |
| 共同研究機関名        | 研究責任者 |
| 東邦大学医療センター佐倉病院 | 中川晃一  |
| 船橋整形外科         | 齊藤雅彦  |
| おゆみの中央病院       | 赤木龍一郎 |
| 成田赤十字病院        | 星裕子   |
| 東千葉メディカルセンター   | 濱田剛史  |

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院整形外科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

整形外科 特任助教 坂本卓弥

043（222）7171 内線5303